

社会運動論研究会

代表者：YANG Yushuang（社会学研究科博士後期課程2回生）

研究会メンバー：Ouyang Shanshan（先端研究科一貫制博士課程5回生）、山口和紀（先端研究科一貫制博士課程2回生）、峯桃香（社会学研究科博士前期課程2回生）

問題意識と解決すべき課題

社会運動と政治、社会運動と文化が近く関連している。文化（態度、意見、信念、観念など）は社会と政治的観点を影響し、社会、経済および法律の現実を形作る。故に社会運動は既存の制度的取決めだけでなく、文化的な現状をも変革しようとする目的なのである。その中、社会運動における政治と文化がいかに構成され、社会運動における文化的表象、運動内外部の葛藤などをどのような理論枠組みを用いて理解すべきか？欧米社会中心の視点と異なり、本研究会は現代日本、台湾、中国社会における社会運動を事例として、社会運動論の理論発展を踏まえ、社会運動と文化研究の結合がもたらせる可能性をさらに開拓していくと考えられる。

目的 | マイノリティ社会運動の理論動向

社会運動をめぐる理論・事例研究を検討することを通じて、女性運動、LGBTQ運動、障害者運動などマイノリティ運動を考察する際の理論的動向を把握する。とりわけ社会運動論における。文化研究の発展に沿って、運動中のカルチュラル・ポリティックスに着目する。

開催内容 | 運営計画会議を含む通算8回開催

★論文講読会 7回

運動論に関する文献・論文の輪読を行うことを活動の基本とし、担当メンバーがレジюмеを作成し、発表した。各メンバー自身の研究事例の検討報告も行った。



研究成果と発表実績

社会運動論が発展してきた主な理論流派（資源動員論と新しい社会運動論）と分析概念を把握し、社会運動における文化的表象、運動内外部の葛藤を検討した。各メンバーは研究会で得られた知見をまとめ、海外学会に参加した。

【学会発表・査読あり】

○OUYANG, S., Robinson, R., & Kamenetsky, S. "Breaking Windows and Mirrors: the LGBTQ+/Disability Community's Representation in Japanese Media" [Paper presentation]. International Conference on Disability Inclusion 2022, Brawijaya University, Indonesia. November 18th 2022.

○Yang Yushuang, Participation from Afar: The Representation of Solidarity in Chinese Diaspora Feminists' Use of Social Media. International Postgraduate and Academic Conference 2023 (IPAC 2023), Ritsumeikan University. 18th February, 2023, Japan.